



化石の復元、 承ります。 うけたまわ

古生物 復元師たちの おしごと

会場設営編

2022年7月9日。上野・国立科学博物館に

氷河期の大型獣・チベットケサイが出現！

1週間後に開幕を控えた「化石ハンター展」の

設営現場取材してきました。





早速作業開始！



頭骨も慎重に…



並べてパーツの確認。

箱入チベットケサイ

到着。



朝10時。大きなトラックに載せられてやって来たのは木箱に入れられたチベットケサイの骨格レプリカ。秘密の巨大エレベーターで直接会場に運ばれると、1点1点丁寧に取り出され、早速組み立てが始まりました。



組み立て



後ろ足から、骨盤、背骨、肋骨……。
徐々にその姿が現れてきました。
ここでも指揮を執るのは、ゴビサポート
ジャパンの高橋功さん。中心で作業にあ
たるのは、ツナギ姿の岩崎智恵さん。
みるみる組み上がっていきます！

肋骨は1本1本…

まずは後ろ足と骨盤から

そして前足、背骨



設定：突然現れたお客さんに驚き、
家族を守るために威嚇するお父さん

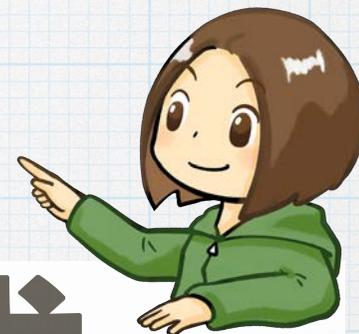
高く伸びるツノ

睨みを利かせた目

威嚇する前足

ででん!

完成。



搬入から1時間足らずで、あっという間に作業は終了。
でもこの手際の背景には、時間をかけて丁寧に作り上げた
復元の工程と、「古生物復元師」一人一人が積み上げてきた
経験があるのです！

(詳細は、書籍『化石の復元、承ります。』を参照)

そしてこのチベットケサイにも、氷河期に息絶え、2007年
に発見され、北海道で全身が復元されるまでの長い長いス
トーリーが…。

こうして2022年の上野で会えるのは、まさに奇跡！

神奈川県から生体模型のお母さんサイと赤ちゃんサイも到着し、チベットケサイの家族がそろいました。骨格レプリカのお父さん、心なしか頼もしく見えます。1週間後、「化石ハンター展」が開幕し、興味津々の眼差しで取り囲むお客さんと対峙する時が本当の完成。どんな迫力の表情を見せてくれるのか、楽しみです。



続きは会場で。